

報道機関への情報提供 (12月)

1 主要行事等について

| No. | 項目 | 問合せ先 | ページ |
|-----|---|---|-----|
| 1 | 空輸を活用した低コスト物流構築事業実証試験の実施について | 宮古地域振興センター 特命課長 中村 0193-64-2217 | 1 |
| 2 | 宮古地方和牛子牛育成飼養管理マニュアル(牛舎掲示用)の和牛繁殖農家全戸配布について | 宮古農林振興センター 農業振興課長 堀間 0193-64-2214(内線 262) | 2 |
| 3 | 令和5年度第3回宮古山田圏域流域治水協議会の開催について | 土木部宮古土木センター 河川港湾課長 大村 0193-65-0031 (内線 381) | 4 |
| 4 | 岩手ダイハツ販売株式会社様 車両(コペン)寄贈式について | 県立宮古高等技術専門校 校長補佐 島川 0193-62-5606 | 5 |
| 5 | 令和5年度ものづくり体験教室の開催について | 県立宮古高等技術専門校 校長補佐 島川 0193-62-5606 | 6 |
| 6 | 令和5年度三陸観光プランナー養成塾第1回の開催について | (公財)さんりく基金DMO事業部 (三陸DMOセンター) 観光プロデューサー 北田 0193-77-5760 | 8 |
| 7 | 三陸ジオパークの再認定審査の伝達について | 三陸ジオパーク推進協議会事務局 事務局長 土澤 0193-64-1230 | 9 |

2 その他



報道機関への情報提供

| 項目 | 空輸を活用した低コスト物流構築事業実証試験の実施について |
|---------|--|
| 内容 | <p>○ 事業概要</p> <p>沿岸広域振興局では、宮古盛岡横断道路や三陸沿岸道路などの新たな交通ネットワークを活用し、宮古・下閉伊地域での小ロット混載や集荷システムの整備による低コスト物流体制の構築に向けた実証試験を行うこととし、<u>①道の駅等から大阪国際空港（伊丹空港）への食品・生鮮品等の輸送、併せて、②輸送した商品の販売及び三陸の食・観光等をPRするため「ITAMI 空の市」に参加することとしましたので、当日の取材についてお願いします。</u></p> <p>① 輸送に係る取材場所</p> <p>(1) 日時 令和5年12月14日（木）15:00</p> <p>(2) 場所 道の駅みやこ（宮古市臨港通1-20）</p> <p>(3) 内容 商品の積み込み</p> <p>(4) その他 その他の各道の駅等でも順次集荷を行うもの。</p> <p>② 「ITAMI 空の市」への出展</p> <p>(1) 日時 令和5年12月16日（土）12:00～18:00 12月17日（日）10:00～16:00</p> <p>(2) 場所 大阪国際（伊丹）空港北ターミナル2階 JAL グローバルカウンター前</p> <p>(3) 主催 株式会社ジェイエア</p> <p>(4) 主な販売商品 宮古トラウトサーモン、りんご、乾しいたけ、岩泉生わさび、岩泉ヨーグルト、黒文字クラフトコーラ</p> |
| 取材時の留意点 | <ul style="list-style-type: none">トラックの運行状況に伴い時間に変更がある場合、当日電話連絡をさせていただきますので、大変恐縮ですが、集荷を取材いただける場合は、<u>12月14日（木）12:00までに下記問合せ先まで御連絡をお願いします。</u>集荷を取材される場合は、道の駅みやこへお越しください。なお、実証試験段階につき、輸送業者のロゴマーク、伝票及びドライバーのユニフォームの撮影は御遠慮いただくようお願いいたします。 |
| 問合せ先 | 宮古地域振興センター 中村、吉田（電話：0193-64-2217） E-mail:BJ0001@pref.iwate.jp |



| | |
|---------|---|
| 項 目 | 宮古地方和牛子牛育成飼養管理マニュアル（牛舎掲示用）の和牛繁殖農家全戸配布について |
| 日 時 | 令和6年1月配布 |
| 場 所 | 和牛繁殖農家へ郵送。 |
| 内 容 | <p>宮古地域の黒毛和種の飼養農家戸数及び頭数は減少傾向にあり、産地維持していくためには、担い手農家の規模拡大による繁殖雌牛頭数の維持拡大と、分娩間隔の短縮による子牛生産頭数の確保が必要となっています。</p> <p>そこで、宮古地方農業振興協議会畜産部会では、宮古地域の和牛の子牛飼養管理技術の普及定着を図ることを目的に、宮古地方和牛子牛育成飼養管理マニュアル（牛舎掲示用）を和牛繁殖農家へ全戸配布することにしましたのでお知らせします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 配布日時 令和6年1月から配布開始2 配布方法 郵送等に対応3 配布資料 別添のとおり4 その他 和牛の飼養管理全般をまとめた宮古地域肉用牛飼養管理マニュアル（冊子版）を、追って配布予定です。 |
| 特 徴 | <ul style="list-style-type: none">・宮古地域の和牛繁殖農家は、約140戸おり、約1,200頭を飼養しています。・牛舎に掲示してもらうため、湿気、ほこり等に耐えられるよう、ラミネート仕様になっています。 |
| 取材時の留意点 | |
| 問合せ先 | 沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター農業振興課 【担当】 堀間、佐々木（義） （電話：0193-64-2214 内線262） |

宮古地方和牛子牛育成飼養管理マニュアル



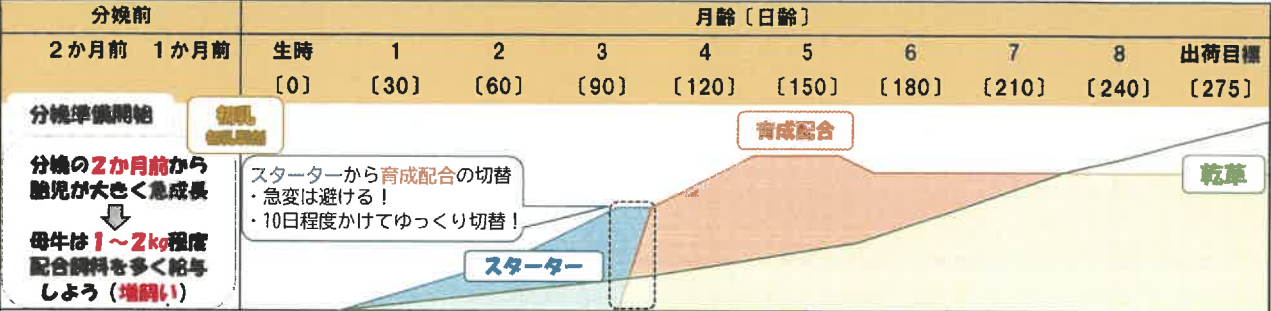
～子牛育成は生後3か月が鍵！ 前半濃厚飼料、後半良質乾草多給で、骨格と腹づくりを！～

◎出荷目標【去勢】日齢275日・体重305kg・体高120cm【雌】日齢275日・体重283kg・体高116cm

子牛育成給与マニュアルに取り組んで商品性の高い子牛を育成しよう！

育成後半は良質乾草多給でしっかり腹づくり！購買者へバトンタッチ！

飼料給与体系



飼料

濃厚飼料 栄養成分TDN75%、蛋白質CP18% **切替** 栄養成分TDN70%、蛋白質CP17%
 新鮮な水
 粗飼料(細断)
 ・栄養豊富な自給乾草(2番草)を給与(飼料分析で栄養成分を確認)
 ・自給牧草(1番草・2番草)の他、輸入乾草等も混ぜて給与
 ・仕上げ期は自給牧草(1番草)を中心に、稲わらも給与すると良い

給与量の目安

| 飼料 | 月齢【日齢】 | 給与量(kg) | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|---------|-----|-----|--------------|-----|-----|------------------|-----|-----|------|
| | | 生時 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 出荷目標 |
| 去勢 | スターター | 0.5 | 1.5 | 3.0 | ※5か月齢が濃厚飼料最大 | | | ※濃厚飼料は維持又は徐々に減らす | | | |
| | 育成配 | 0.05 | 0.5 | 1.0 | 1.5 | 2.0 | 3.5 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 |
| | 粗飼料 | 0.05 | 0.5 | 1.0 | 1.5 | 2.0 | 3.5 | 4.0 | 5.0 | 5.5 | 5.5 |
| | 体重の目安(kg) | 34 | 61 | 89 | 116 | 133 | 167 | 200 | 233 | 266 | 305 |
| 雌 | スターター | 0.5 | 1.5 | 3.0 | ※5か月齢が濃厚飼料最大 | | | ※濃厚飼料は維持又は徐々に減らす | | | |
| | 育成配 | 0.05 | 0.5 | 1.0 | 1.5 | 2.0 | 3.5 | 3.5 | 3.5 | 3.5 | 3.5 |
| | 粗飼料 | 0.05 | 0.5 | 1.0 | 1.5 | 2.0 | 3.5 | 4.0 | 5.0 | 5.5 | 5.5 |
| | 体重の目安(kg) | 31 | 53 | 74 | 95 | 124 | 155 | 185 | 216 | 247 | 283 |
| 体高の目安(cm) | 72 | 77 | 83 | 88 | 92 | 96 | 99 | 102 | 105 | 116 | |
| 胸囲の目安(cm) | 72 | 87 | 97 | 105 | 115 | 124 | 132 | 139 | 146 | 153 | |

飼養管理のポイント

飼養管理の基本
 初乳給与 子牛のみ別飼で管理 離乳 観血去勢 割蹄、緊ぎ運動、ブラッシング
 【各種手続】 出生届 耳標 子牛登記 市場申込

※3か月齢まではスターター重視 ※5か月齢は育成飼料を最大給与 ※6か月以降は良質乾草多給
 スターターで子牛の発育と胃の発達を促進 骨格と胃が最も発達する時期 骨格ができた後は乾草でしっかり胃づくり

- 初乳は免疫獲得に必須。摂取確認、初産・漏乳・泌乳量が少なくなるときの初乳製剤の活用しよう。
- 母乳量が不足していると思われる場合は代用乳で補給
- 胃の発達を促すため、スターターは生後5~7日頃から給与
- 残飼は毎日取り除き、新鮮な飼料・水を給与しましょう。
- 3か月齢までの管理が良いと、体高のある子牛に育ちます。
- 給与量は目安です。発育状況や飼料の品質に応じて増減
- 濃厚飼料多給は過肥等の悪影響があるので注意
- 良質な乾草を食べさせ胃づくり体づくりをしっかりと。

衛生管理

☆病氣しない管理、何より予防が大事

へそ消毒 寄生虫対策 牛5種混・へも予防注射

☆分娩前から始まる衛生対策 ☆子牛は下痢と風邪が大敵 ☆子牛の下痢症対策をしきましょう！

- 分娩前の準備
 - ・寝起きし動ける広さを確保
 - ・事前に清掃、消毒、駆虫
 - ・敷料は厚く敷こう
 - ワラ ×おが粉
- 快適な環境を整えよう
 - ・たくさんの敷料、乾いた寝床を用意
 - ・冬場は保温をしっかりと
 - でも換気は十分に
- 子牛の下痢対策は母牛から！
 - ・分娩前の母牛には下痢予防ワクチンを接種
 - ・初年は2回接種、次年からは1回接種
 - 病原体を持ち込まない・広げない！
 - ・消毒槽の設置等で消毒を徹底

次の症状が見られたら… 生後間もない白痢 血が混じる便 高熱を伴う下痢 急に脱水する下痢 **すぐに獣医師に診てもらおう！**



報道機関への情報提供

| | |
|---------|---|
| 項 目 | 「令和5年度第3回宮古山田圏域流域治水協議会」を開催します。 |
| 日 時 | 令和5年12月21日（木） 13時30分から 14時30分まで |
| 場 所 | 宮古港フェリーターミナル 3階 会議室（宮古市磯鶏第4地割114-1） |
| 内 容 | <p>【趣旨】 平成28年台風第10号、令和元年台風第19号では各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図るため、「宮古山田圏域流域治水協議会」を開催します。</p> <p>1 出席予定者 宮古市産業振興部長、都市整備部長、危機管理監、上下水道部長 山田町総務課長、農林課長、上下水道課長、建設課長、都市計画課長 国土交通省気象庁仙台管区気象台盛岡地方気象台次長 農林水産省林野庁東北森林管理局三陸北部森林管理署長 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター盛岡水源林整備事務所長 岩手県沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター所長 岩手県沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室長 岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター所長</p> <p>2 議事（予定） 宮古山田圏域流域治水プロジェクト（案）</p> <p>3 背景等</p> <ul style="list-style-type: none">岩手県では、平成28年台風第10号や令和元年台風第19号をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による今後の水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策（流域治水）を計画的に推進するため、宮古地域において「宮古山田圏域流域治水協議会」を6月に設立し、関係者の治水対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」の策定を進めています。令和3年度に設立した「閉伊川水系流域治水協議会」に山田町及び盛岡地方気象台の関係者を加え、令和5年度からは「宮古山田圏域流域治水協議会」として、今回策定する「宮古山田圏域流域治水プロジェクト」により治水対策を推進しようとするものです。 |
| 特 徴 | |
| 取材時の留意点 | 取材の際は事前にご連絡ください。 |
| 問合せ先 | 沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 河川港湾課長 大村 学、主査 菅野 貴詳 (電話：0193-65-0031 内線381、383) |



報道機関への情報提供




| | |
|---------|---|
| 項 目 | 岩手ダイハツ販売株式会社様 車両（コペン）寄贈式について |
| 日 時 | 令和5年12月18日（月） 10:30～11:00（10:00～報道受付） |
| 場 所 | 岩手県立宮古高等技術専門校 自動車システム科実習場 宮古市松山8-29-3 |
| 内 容 | <p>この度岩手ダイハツ販売株式会社様より当校へ車両の寄贈があり、寄贈式を行いますのでお知らせいたします。</p> <p>1 当日の出席者 (1) 岩手ダイハツ販売株式会社 大原博之社長、吉田正博取締役、櫻場義昭管理部部長 (2) 宮古高等技術専門校 校長、校長補佐、自動車システム科職員3名、学生22名</p> <p>2 次第 (1) 開会 (2) 岩手ダイハツ販売株式会社様ご挨拶（代表取締役社長 大原博之様） (3) 目録贈呈（岩手ダイハツ販売株式会社→校長） ※写真撮影 (4) 校長挨拶 (5) 学生代表挨拶（自動車システム科2年 星 信太郎） (6) 閉会 ※ 終了後記念写真撮影</p> <p>3 寄贈車両 コペン Robe 1台（188万円相当）</p> <p>※ 寄贈式終了後に岩手ダイハツ販売株式会社による講習会を予定 11:00～12:00 スマートアシストについて 13:00～14:00 音声点検システムについて</p> |
| 参 考 | <p>○ 岩手ダイハツ販売株式会社 岩手県におけるダイハツ自動車の販売会社として昭和41年3月に創設。 寄贈される コペン Robe は、軽自動車の中でも特に人気の高い車種である。自動車システム科学生の実習用教材や当校のイベントでの活用するため寄贈いただく。</p> |
| 取材時の留意点 | 事前の取材申込は不要です。直接会場にお越しください。 |
| 問合せ先 | 岩手県立宮古高等技術専門校 校長補佐 島川 (電話：0193-62-5606 FAX：0193-64-6596 E-mail：kaz-shima@pref.iwate.jp) |

COPEEN Robe



報道機関への情報提供

岩手県立宮古高等技術専門校

| | |
|---------|--|
| 項 目 | 令和5年度ものづくり体験教室の開催について |
| 日 時 | 令和6年1月10日（水） 13:00～16:30 |
| 場 所 | 岩手県立宮古高等技術専門校（宮古市松山 8-29-3） |
| 内 容 | <p>将来のものづくり人材の育成に向け、小学生及び中学生に体験を通して興味をもっていただくことを目的に、「ものづくり体験教室」を開催することとしましたのでお知らせいたします。</p> <ol style="list-style-type: none">日時 令和6年1月10日（水） 13:00～16:30（12:30から受付）場所 岩手県立宮古高等技術専門校 宮古市松山 8-29-3内容 ミニ四駆の組立及び競技大会（ジュニアカップ）対象及び定員 (1) 対象 小学5年生、6年生、中学生 (2) 定員 20名募集期間 令和5年12月4日（月）～令和5年12月15日（金）（当日17時必着） ※先着順で定員になり次第締め切ります。申込方法 次のいずれかの方法でお申し込み願います。<ol style="list-style-type: none">メール アドレス：cd0006@pref.iwate.jp 下記の必要事項を入力して送信<ul style="list-style-type: none">学校名、学年、参加者氏名・ふりがな同伴者の有無（有の場合、同伴者の氏名と関係）連絡先住所、電話番号及び連絡可能な時間帯申込書をFAX又は本校へ持参 FAX番号：0193-64-6596 申込書は宮古高等技術専門校のHPから入手できます（岩手県HPのサイト内検索「宮古高等技術専門校」でヒットします）。その他<ul style="list-style-type: none">参加する方は当日上履きを持参願います。詳細は参考資料「ものづくり体験教室チラシ」をご覧ください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"></div> |
| 取材時の留意点 | 事前の取材申込は不要です。直接会場にお越しください。 |
| 問合せ先 | 岩手県立宮古高等技術専門校（電話：0193-62-5606） 校長 早坂 寛、校長補佐 島川 和男 |

後援 宮古市教育委員会・宮古下閉伊ものづくりネットワーク

参加費
無料



HP



X
(Twitter)



Instagram

HP・X・インスタに
当校までの道順動画を
載せていますので
参考にしてください。

ミニ四駆を作って
走らせよう！

令和5年度

ものづくり体験教室

日にち 2024年1月10日(水)

時間 13:00~16:30(12:30から受付)

場所 岩手県立宮古高等技術専門校
(宮古市松山8-29-3)

中ズックを
持参して
ください！

定員/対象者

定員：20名

対象者：小学5、6年生
中学生

申し込み方法

下記の2つから選んでください

①メールで下記事項を入力して送信



cd0006@pref.iwate.jp

学校名・学年・参加者氏名・ふりがな・
同伴者がいる場合同伴者の氏名と参加者の関係・
連絡先住所・電話番号及び連絡可能時間

②申込書をFAX送信又は、本校へ持参



0193-64-6596

募集期間 ※先着順で定員になり次第締め切ります。

12/4(月)8:30~12/15(金)17:00

内容



ニッパ等の道具を
使ってミニ四駆を
作ります。



試走します☆



今年も“ジュニア
カップ”を開催し
ます！
上位入賞者には
景品があります☆

岩手県立宮古高等技術専門校



宮古市松山8-29-3
TEL 0193-62-5606
FAX 0193-64-6596

岩手県立
宮古高等技術専門校



報道機関への情報提供

| | |
|---------|--|
| 項 目 | 令和5年度三陸観光プランナー養成塾第1回の開催について |
| 日 時 | 令和5年12月19日(火) 開会10時、閉会15時30分 |
| 場 所 | 田野畑村 北山崎ビジターセンター(下閉伊郡田野畑村北山129-10) |
| 内 容 | <p>【趣旨】 三陸DMOセンター(公益財団法人さんりく基金)では、三陸沿岸地域の豊かな自然・食材の恵み・郷土文化等を生かした体験プログラムを「売れる旅行商品」として企画できる人材(三陸観光プランナー)の育成を目的に平成28年度から三陸観光プランナーを養成しています。 今年度は、三陸観光プランナー養成塾を計3回開催する予定で、第1回は、初任者向けの基礎講座として開催いたします。 当日の取材についてよろしくお願ひいたします。</p> <p>【開催概要】 令和5年度第1回 三陸観光プランナー養成塾(基礎講座) 1 対象 新規受講者(地域で活動する新任の観光人材や三陸沿岸の観光に興味がある方向け) 2 開講日時 令和5年12月19日(火) 10時から15時30分 3 会場 北山崎ビジターセンター(岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10) 4 講座の内容 (1) 講演(10:00~12:00) ① 体験コンテンツの造成に関する基本的な考え方 講師:特定非営利活動法人体験村・たのはたネットワーク 理事長 楠田 拓郎 氏 ② 体験コンテンツのOTA販売について 講師:一般社団法人Nature Life 代表 大山 幸真 氏 (2) ワークショップ等(13:15-15:30)</p> <p>【参考】 第2回及び第3回講座は、これまでに三陸観光プランナー養成塾生として受講した方々(0B・0G)を対象に学び直し、スキルアップを目的とした内容となっています。(第1回の受講者も、参加可能) ・第2回(令和6年1月下旬~2月上旬予定) 観光体験コンテンツのECサイトでの販売における情報分析と販売戦略等について ・第3回(令和6年3月上旬予定) 旅行者の旅ナカ情報の取得(観光CRM)と販売戦略への活用について</p> |
| 特 徴 | 令和5年度第1回講座では、現在、岩手三陸沿岸地域で活躍する方々から、直接、三陸の魅力ある観光体験コンテンツの作り方やOTA販売について学びます。(第2回以降は観光DXもテーマ) |
| 取材時の留意点 | 取材いただける場合は、下記問合せ先に12月18日17時までにご連絡をお願いいたします。場所によっては写真の撮影を控えていただく場合もございます。 |
| 問合せ先 | (公財)さんりく基金DMO事業部(三陸DMOセンター) 宮古市五月町1-20 宮古地区合同庁舎2階 観光プロデューサー:北田、金野(電話:0193-77-5760) 申込先メールアドレス:info@sanriku-travel.jp |



| | |
|---------|--|
| 項 目 | 三陸ジオパークの再認定審査の伝達について |
| 日 時 | 令和5年12月14日(木) |
| 場 所 | 三陸ジオパーク推進協議会事務局(宮古地区合同庁舎2F) |
| 内 容 | <p>三陸ジオパークでは、今年度、日本ジオパーク委員会による4年に一度の再認定審査を受けたところですが、下記により審査結果が三陸ジオパーク推進協議会(会長:山本正徳宮古市長)に伝達される予定ですのでお知らせします。</p> <p>1 再認定審査結果の伝達について (1) 伝達日時 令和5年12月14日(木) 15時50分から16時の間(予定) (2) 受電場所 三陸ジオパーク推進協議会事務局 (宮古市五月町1-20 宮古地区合同庁舎2階) (3) 受電対応 上記協議会事務局長が日本ジオパーク委員会からの伝達を受電</p> <p>2 参考 (1) 三陸ジオパークについて 【概要】平成25年9月に日本ジオパークに認定され、青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの3県16市町村をエリアとするジオパーク 【テーマ】「悠久の大地と海と共に生きる～震災の記録を後世に伝え学ぶ地域～」 【特徴】①日本最大の広域ジオパークであること。 ②5億年前からの大地の成り立ちを連続的に観察できる学術的重要性を有していること。 ③東日本大震災津波の被災地域をエリアとしていること。</p> <p>(2) 再認定審査について ジオパークには4年に一度の再認定審査の仕組みがあり、現地調査と提出書類により審査が行われ、再認定の可否が決定される。再認定には、「再認定」(認定期間4年)と「条件付き再認定」(同2年)の種別がある。</p> |
| 取材時の留意点 | (1) 映像及び写真撮影が可能です。 (2) 上記時刻は前後する場合がございますので予め承知おき願います。 (3) 取材いただく場合は、別紙によりFAX又はメールにより取材の申し込みをお願いします。 |
| 問合せ先 | 三陸ジオパーク推進協議会事務局(宮古地区合同庁舎2F) 担当 事務局長 土澤 (電話:0193-64-1230) |

別紙

三陸ジオパーク推進協議会事務局 あて
(FAX 0193-64-1234)
(メール info@sanriku-geo.com)

三陸ジオパーク再認定審査結果の伝達 取材申込書

| | | | |
|------------|--|------------|--|
| 社名 | | | |
| ご担当者 氏名 | | | |
| 電話番号 | | 当日の 連絡先 | |
| FAX | | Eメール | |

【当日の取材者について】

| | |
|-----|--|
| 氏 名 | |
| 氏 名 | |
| 氏 名 | |

令和5年12月以降の主な行事予定について（令和5年12月13日現在）

| 市町村 | 行事等 | 備考 |
|------|---|----|
| 管内共通 | <ul style="list-style-type: none"> ・三陸冬色さがしフォト投稿キャンペーン（12/8（金）～2/21（水）） ・ITAMI空の市（12/16（土）、17（日）伊丹空港） ・第7回保護猫譲渡会（12/16（土）13:00～15:00）宮古地区合庁 ・宮古・下閉伊地方原木しいたけを食べようキャンペーン（11/1（水）～12/15（金）） ・マガキの水揚げ（10月～） ・アワビの水揚げ（11月～12月） ・宮古の真鱈グルメフェア（12/1（金）～1/31（水）） ・宮古魚市場初セリ（1月4日（木）） ・宮古地区合同工事現場パトロール（R5年度2回目）（12/13（水）） ・宮古山田圏域流域治水協議会（第3回）（12/21（木）） ・三陸ジオパーク再認定審査結果発表（12/14（水）） | |
| 宮古市 | <ul style="list-style-type: none"> ・本州最東端の初日の出 初春クルージング（1/1（月・祝）藤原埠頭） ・三陸鉄道「洋風こたつ列車」（12/9（土）～2/25（月・祝）） 宮古駅～釜石駅 ・三陸鉄道「こたつ列車」（12/16（土）～3/24（日）） 宮古駅～久慈駅 ・宮古真鱈まつり（1/21（日））宮古市魚市場 ・道の駅で「宮古盛岡横断道路インフラカード」配付（11/1（水）～、枚数限定） | |
| 山田町 | <ul style="list-style-type: none"> ・三陸山田かき小屋（11/3（日）～6月頃） | |
| 岩泉町 | <ul style="list-style-type: none"> ・新春お振る舞い、ドラゴンイヤー抽選会、（1/1（月・祝）～1/3（水））龍泉洞 ・鳥インフル建設業協会情報共有会議（12/18（月）） | |
| 田野畑村 | <ul style="list-style-type: none"> ・北山崎断崖クルーズ 初日の出号（1/1（月）～1/3（水）） ・鳥インフル建設業協会情報共有会議（12/18（月）） | |



田野畑小学校を対象に砂防出前講座を開催しました。

土砂災害及び対処方法に対する正しい知識を身につけることにより、行政の発信する避難情報を待つことなく、自ら必要な情報を入手して適切な避難行動に繋げていくことを目的として、「土砂災害から身を守る」というテーマで、令和5年10月18日に田野畑村立田野畑小学校において「砂防の出前講座」を開催しました。

出前講座では、児童24名（4年生）と教員2名の参加があり、教室及び現場での授業、模型実験のほか令和元年台風19号被害を契機に整備した砂防堰堤の見学を行いました。

参加した児童からは「土砂災害について知ることができとても勉強になった。砂防堰堤がどんな役目をするのか詳しくわかった。」などの感想がありました。



◆教室で土砂災害について学習



◆模型実験で土石流と砂防堰堤の効果を確認

◆児童より ～アンケートより～

モレの時にさほうんいがかどんなやくめをするのかかくわしくわかった。

◆教員より

説明が簡潔で、声量もちょうどよく、とても分かりやすかったです。子どもたちのつぶやきや質問にも、ていねいに答えたり、子どもたちの理解につながったと思えました。3校時もしばしばたくさん資料(模型や現物も含め)を準備してくださり、見て考える事ができました。ありがとうございました。



◆令和元年台風19号被害を契機に整備し、今年4月に完成した「平井賀の沢」砂防堰堤を見学しました！



◆見学した「平井賀の沢」砂防堰堤

～かわら版に関する問い合わせ先～

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

【TEL】0194-22-3110(用地課)

0194-22-3111(道路整備課)

0194-22-3116(管理課)

【E-mail】BJ0010@pref.iwate.jp

携帯・スマートフォンからはこちら

0194-22-3114(建築指導課)

0194-22-2890(河川、海岸、砂防)

